

24年度施政方針 綾瀬の『五つの力』を高めます

笠間市長は、2月28日の定例市議会で施政方針演説を行い、24年度の市政に対する所信と主要施策を示しました。

施政方針の全文は、情報公開コーナーか市ホームページで閲覧できます。

☎企画課 ☎70・5635。



市民協働の促進と持続可能な都市経営をさらに進め、将来を見据えた活力ある魅力的なまちづくりを目指します。

東日本大震災という未曾有の自然災害に見舞われ、私たちは一人一人が協力し合う大切さ、絆の大切さを、改めて心に刻みました。これからも、市民の皆さんと手を取り合い、絆を深めながら、綾瀬のまちづくりに取り組めます。

24年度は、重点とする「五つの力」を中心に事業を展開していきます。

① 元気の力

少子高齢化を踏まえ、妊娠・出産・子育てに対する一貫した支援や、青少年の健全育成、障害者・高齢者福祉などを推進します。全国的に課題となっている生活保護受給者の増加に対して、自立支

援の強化を図ります。

② 産業の力

農地の再生や新産業拠点の創出に向け、新たな施策を推進します。中小企業支援や都市基盤整備に積極的に取り組みます。

③ 教育文化の力

人を思いやり、社会を生き抜く力を身に付けた綾瀬の子どもを育てるために、学校教育を充実させます。市民が生きがいと誇りを持って人生を歩むことができるまちづくりを進めるために、生涯学習施策を推進します。

④ 環境の力

緑の保全や公園の整備、ごみの減量化などの対策に取り組みます。再生可能エネルギーの活用や放射線対策を推進します。

⑤ 安全安心の力

東日本大震災に学び、消防を含めた防災対策を推進します。市民の日常生活を守る防犯対策や、長年の課題である基地対策に取り組みます。

24年度の予算は、より大きな成果が得られるよう全ての事務・事業について再点検を行うとともに、新たな財源とさらなる自主財源の確保に努めました。

効率的で効果的な行政経営を推進し、「緑と文化が薫るふれあいのまち あやせ」と「市民一人一人がいつまでも住み続けたいと思えるまち」の早期実現を目指していきます。

主な新規事業と予算額

元気の力 (福祉、医療)

不妊症・不育症治療への助成
360万円

出産環境の充実を進めるため、不妊症・不育症の治療をしている方に治療費の一部を助成します。

ひとり暮らし高齢者などのごみ個別収集
296万円

在宅で生活を送る高齢者、障害者へのサービスと福祉の増進を図るため、収集所へごみを出すことが困難な高齢者、障害者のお宅を職員が回り、ごみの収集を行います。

産業の力 (農業、商業、工業)

耕作放棄地の対策
536万円

農業者、農業者組織、農業参入法人などが耕作しやすい環境を整えるため、吉岡根恩馬地区の農業用水路の排水整備に着手します。荒廃農地を再生させるため、農地借受人が実施する再生作業費用の一部を助成します。

企業立地などへの助成
3,105万円

産業の活性化と市民の雇用機会を拡大し、将来にわたる持続的な経済発展と市民生活の安定を実現するため、新規企業の立地促進と市内既存企業の事業拡大の支援、市民雇用促進の支援を実施します。

(仮称) ハローワークの市役所内設置
150万円

国と市が連携してハローワークの機能を持つ就労支援施設を市役所内に設置し、職業相談、職業紹介などの就労支援サービスを提供します。

コミュニティビジネスへの支援
100万円

市内商店街の空き店舗活用を促し、商店街の活性化を図るため、地域課題解決を目的とするコミュニティビジネス事業に対し、家賃・改装費などの一部を助成します。

住宅リフォームへの助成
1,500万円

市内事業者の受注拡大を促し、地域経済の活性化と市民の居住環境の向上を図るため、市内の事業者を利用して住宅リフォームを行った市民を対象に工事費の一部を助成します。

教育文化の力 (教育、文化、スポーツ)

土曜まなび場の開催
498万円

小学生を対象として、土曜日に学習の場を提供することにより、学習意欲を育て家庭学習の習慣化を図ります。

(対象) 小学生
(1地区40人程度で2地区を予定)

(場所) 地区センターか児童館
(日時) 原則第1・3土曜日9時～11時

家庭読書の日
ノーテレビ・ノーゲームデー運動
260万円

読書を通して子どもの豊かな心を育むとともに、親子のふれあい時間の充実を図るため「家庭読書の日、ノーテレビ・ノーゲームデー運動」を展開します。

健康ファミリーマラソン大会の開催
100万円

健康増進、家族・地域のふれあい、スポーツに対

する意識の高揚を図るため、家族で楽しく走ることをねらいとした健康ファミリーマラソン大会を綾瀬スポーツ公園で開催します。

環境の力 (環境、みどり)

環境基本計画の策定
245万円

良好な環境を将来の世代に引き継ぐため、地球環境への負荷低減を図ることを目標に、環境基本計画を改定します。(H24～H25)

H24：市民意識アンケート等基礎調査を実施

電気自動車用急速充電器の設置
796万円

地球温暖化防止対策として、電気自動車の普及促進を図るため、市役所敷地内に電気自動車用の急速充電器を設置し、無料開放します。

安全安心の力 (防災、防犯、消防)

防災行政用無線の再整備
293万円

災害時に市民への確実な情報伝達を行うため、老朽化している防災行政用無線(同報系)を更新整備(デジタル化)します。

H24：基本設計

H25：実施設計

H26：親局・子局整備

消防無線の広域化
3,308万円

海老名市、座間市と綾瀬市の3市で共同指令センターを建設し、単独で行っていた通信指令業務などを広域化することで、効率化を図ります。

・運用予定 H27～